

日本植生史学会ニュースレター

No.27 August 13, 2012

第27回日本植生史学会大会のご案内(第2報)、「縄文時代の編組製品研究の到達点—地域性と素材に注目して」のご案内、佐賀市教育委員会主催シンポジウム「植物利用の源流をさぐる—湿地に残されたもの—」のご案内、IPC/IOPC2012のご案内、学会ニュース

第27回日本植生史学会大会のご案内(第2報)

第27回日本植生史学会大会を下記の日程で開催します。

◆日時

11月23日(金) 午前：幹事会，評議員会
午後：公開シンポジウム，奨励賞授与式及び受賞記念講演，懇親会
11月24日(土) 午前・午後：一般研究発表(口頭・ポスター)，総会

◆会場 アオーレ長岡 市民交流ホールA(新潟県長岡市大手通1丁目4番地10)

◆主催 日本植生史学会 共催 新潟県立歴史博物館 後援 新潟県考古学会

◆大会実行委員 荒川隆史(委員長)，加藤正明，渡邊裕之，西本寛，庄田慎矢，佐々木由香

◆費用(費用はすべて当日徴収になります。金額はすべて予定です。)

参加費：一般会員・非会員：3000円 学生会員：1000円(要旨集代を含む)

懇親会費：一般会員・非会員：5000円 学生会員：3000円

◆大会チラシ 学会Webサイト(<http://hisbot.jp/>)からダウンロードできます。配布のご協力をお願いします。

◆宿泊 長岡駅周辺に宿泊施設は多数あります。懇親会会場である長岡グランドホテルに宿泊されるのが便利です。

◆交通案内

■JR長岡駅からのアクセス

JR長岡駅から徒歩3分(<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/ao-re/access/>)

■JR長岡駅までのアクセス

空路：新潟空港で新潟駅南口行き空港リムジンバス(新潟交通)に乗り，新潟駅で乗換え。

電車：東京から約1時間40分(上越新幹線)，新潟から約25分(同)。

車：東京から約3時間(関越道長岡南越路S.I.C.または長岡I.C.下車)，新潟から約1時間(北陸道中之島見附I.C.下車)。会場周辺に無料駐車場はほとんどありません。

長距離高速バス：関西方面からは堺—なんば—京都—長岡—三条線(南海バス・越後交通)に乗り，「長岡駅東口」で下車。首都圏方面からは池袋—長岡—新潟線(西武バス・越後交通・新潟交通)に乗り「長岡北」停留所で下車，上り車線の「長岡北」停留所に移動して新潟発の高速バス長岡駅前行き(越後交通・新潟交通)に乗り換え。

◆大会プログラム

○11月23日(金)

9:00~10:30 幹事会(市民交流ホールA楽屋)，11:00~12:30 評議員会(市民交流ホールA楽屋)

12:00~ 受付

13:00~17:00 公開シンポジウム

公開シンポジウム「縄文人と森—越後平野の原風景」

オーガナイザー 荒川隆史(新潟県教育庁)

趣旨：縄文時代の集落では，食料・建材・燃料材など生活に不可欠な物資を森林から調達していた。越後平野の縄文集落からは膨大な数の木材や堅果類が出土しており，丘陵から離れた居住地でも森林資源を豊富に利用していたことが明らかになっている。低湿地という立地環境のもと，縄文人が森林資源をどのように確保し利用していたかが問題となっている。そこで，考古学・年輪年代学・植物学による出土資料の分析と，現生林の調査によって得た実証的データとの比較・検討をつうじ，縄文集落の形成と森林利用について時間・空間的に考察したい。

趣旨説明 荒川隆史

話題1 縄文の生活を支えた地形環境とは？

ト部厚志（新潟大学）

話題2 越後平野の縄文クリ林

吉川昌伸（古代の森研究所）

話題3 建材の年輪が語る縄文の森林とその利用

木村勝彦（福島大学）

話題4 遺跡から探る縄文のムラと森

荒川隆史（新潟県教育庁）

パネルディスカッション

17：00～18：00 奨励賞授与ならびに受賞記念講演

18：30～20：30 懇親会

○11月24日（土）（詳細はプログラムでご確認下さい。個人発表申込み受け付け後、プログラムを作成し郵送します。）

8：30～ 受付

9：00～11：00 口頭発表

11：00～12：30 総会・昼食

12：30～14：00 ポスター発表

14：00～16：00 口頭発表

◆大会参加及び一般研究発表の申込み

一般研究発表については、A「生態、古生態、環境変動」、B「人と植物の関係史」、C「分類・系統、生物地理」のテーマ別に、口頭発表とポスター発表を募集します。大会参加及び一般研究発表希望者は10月12日（金）までに下記要領でお申込み下さい。講演要旨は下記要領にて作成し、10月26日（金）必着でメールにてお送り下さい。

口頭発表：時間は15分、発表の際はパワーポイント（Windows・Mac双方対応）をご使用下さい。申込み多数の場合、プログラムの関係でポスター発表にまわってもらうこともありますので、ご了承下さい。

ポスター発表：ボードの大きさは幅90cm、高さ180cm（変更があった場合は発表者にご連絡します）。

◆申込締め切り

一般研究発表 10月12日（金）17：00締め切り

講演要旨 10月26日（金）必着

大会参加・懇親会・巡検参加 11月5日（月）必着（巡検は先着順で定員になり次第締め切ります）

◆申込方法：次の事項を学会Webサイトの申込フォーム（<http://hisbot.jp/>）から記入し、申込み下さい。郵送の場合は、以下の必要事項を記入の上、下記送付先までお送り下さい。

①氏名・所属、②連絡先（住所、電話番号、E-mail）、③会員種別（一般会員／学生会員／非会員）、④懇親会の参加／不参加、⑤6日昼食の弁当の要/不要、⑥一般研究発表の有無

なお、一般研究発表をされる方は、以下の項目も併せてご連絡下さい。⑦発表形式（口頭／ポスター）、⑧発表タイトル、⑨発表者・所属（複数の場合は講演者を明記のこと）、⑩発表分野（A「生態、古生態、環境変動」／B「人と植物の関係史」／C「分類・系統、生物地理」）申し込み時の内容でプログラムが作成されますので、変更がないようご注意ください。また、下記の巡検を希望される方は、⑪に「巡検参加希望」と記載して下さい。

◆講演要旨執筆要領

講演要旨は次の要領に従い作成し、提出して下さい。講演要旨はPDFファイルにて第27回大会実行委員会アドレス（taikai27@hisbot.jp）に送付して下さい（MS-Wordファイル不可）。PDFファイル作成時には以下の点をご注意願います。

1) 講演要旨原稿はAdobe Acrobat Reader 4.0以上で表示・印刷可能なPDFファイルで提出して下さい。

2) ファイルサイズは3.0Mバイト以内で作成して下さい。

3) ページ番号等を学会で挿入しますので、パスワード等のセキュリティ設定は行わないで下さい。「印刷」、「テキストとグラフィックの選択」、「文章の変更」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」等は許可して下さい。

4) 作成したPDFファイルを自分で印刷し、図表に十分な解像度があるか、文字化けはないか確認して下さい。PDFでの送付ができない場合のみ、印刷した原稿を郵送で下記住所までお送り下さい。

原稿は、A4判白紙を縦置き・横書きで使用します。はじめに和文で表題と著者名（所属）を、次に英文で著者名と表題を書き、1行あけて本文を入れて下さい。行数と1行の文字数は自由ですが、38行×45字程度を目安として下さい。本文に図表を入れることができます。余白は上下3cmずつ、左右2.5cmずつお取り下さい。枚数は2ページ以内としします。なお、提出いただいた原稿はそのまま印刷されます。

◆申込・講演要旨郵送先：〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番地6 愛知大学法学部 西本 寛宛

◆ 大会に関する連絡先 お問い合わせ等は taikai27@hisbot.jp 大会実行委員までお願いします。

◆ 巡検のご案内

テーマ：「佐渡の天然スギ」（第35回日本植生史学会談話会）

内容：佐渡島は、暖温帯と冷温帯の境界線に位置する植物の種多様性の高い島であり、能登や隠岐と並び、多くの絶滅危惧生物の生息地でもあります。佐渡島は、島が形成される過程でそもそも本州と接続したことがあるのかどうか、また、生物の移入がどのタイミングで起こったのかなど不明点が非常に多く、地学的側面と生物学的側面の双方から研究の進展が望まれています。花粉分析情報の充実も大きな課題となっています。新潟大学は、この島に演習林、臨海実験所、朱鷺・自然再生学研究センターの3つのフィールド研究拠点を集中させており、それぞれが山・海・里地を担当していますが、今回は演習林の林齢500年を超えるスギの天然林を中心に佐渡の生物相の謎についてご紹介します。

世話人：本間航介，荒川隆史，渡邊裕之

日程：11月24日（土）～11月25日（日）の1泊2日

11月24日（土）大会終了後出発（17時頃）～夕食（船内）～佐渡両津港泊

11月25日（日）巡検 新潟大学演習林・佐渡博物館 夕方新潟港解散（新潟港着18:35予定）

参加費：20,000円～22,000円程度（3食付き・カーフェリー利用）

定員：30名程度

申込締切：11月5日（月）（先着順で定員になり次第締め切ります）

申込方法：上記の大会申込方法と同様、学会Webサイトの申込みフォームから申込み下さい。また天候により巡検が中止になる場合やコースが変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

◆ 日本植生史学会公開シンポジウム・プレ基礎講座「縄文人と森とのかかわり」のご案内

日時：11月4日（日）13:30～16:30

会場：新潟県立歴史博物館 (<http://www.nbz.or.jp/jp/index.html>)

定員：150名

内容：11月23日（金・祝）にアオーレ長岡で開催する日本植生史学会公開シンポジウム「縄文人と森—越後平野の原風景—」を理解するための基礎講座です。「年輪年代学とは何か」「花粉学とは何か」「越後平野の縄文遺跡」について分かりやすく解説します。

講師：木村勝彦（福島大学）・吉川昌伸（古代の森研究舎）・荒川隆史（新潟県教育庁）

申込方法：博物館経営企画課 (koryu@nbz.or.jp) への事前申し込みが必要です。

◆ 新潟県立歴史博物館の無料観覧のご案内

大会参加者は、11月22～25日の期間中、青田遺跡の出土資料の一部が展示されている新潟県立歴史博物館を無料で観覧できます。無料観覧には、次号ニュースレターとして郵送される大会プログラムに印刷されている入場券が必要です。

縄文時代の編組製品シンポジウム

「縄文時代の編組製品研究の到達点—地域性と素材に注目して」のご案内

● 会期：10月13日（土）・14日（日） 参加費無料（資料代およびワークショップに参加される方のみ有料（実費））

● 場所：佐賀県立美術館ホール（佐賀市城内一丁目15-23）

● プログラム 講演内容及び演者（予定）

・ 13日 13:00～17:40 趣旨説明（鈴木三男）、総論（山田昌久）、地域論（千葉敏朗、本田秀生、濱田竜彦、熊代昌之、西田 巖、佐々木由香）

・ 14日 9:30～11:40 素材論（能城修一、小林和貴）、技法と復元製作（本間一恵）、総括（鈴木三男）、編組技法のワークショップ（事前申し込み必要）（高宮紀子）

・ 会期中：東名遺跡出土編組製品遺物・東名遺跡及び三内丸山遺跡出土品の復元かご展示

● お問い合わせ先：鈴木三男 mitsuos@m.tohoku.ac.jpまでメールで御連絡ください。詳しい内容等のご案内を差し上げます。

佐賀市教育委員会主催シンポジウム

「植物利用の源流をさぐる一湿地に残されたもの」のご案内

佐賀県佐賀市に所在する東名遺跡は国内最古の湿地性貝塚で、佐賀市教育委員会では将来的な国指定史跡を目指し、様々な取り組みを行っている。今回のシンポジウムでは、遺跡の特徴の一つである「湿地」を取り上げ、縄文時代の低地部の利用状況や植物の利用方法及び加工技術等に触れながら、東名遺跡における初現的な植物利用について議論する。

- 会期：2012年10月14日（日）13：00～17：00 参加費無料
- 場所：佐賀県立美術館ホール（佐賀市城内一丁目15-23）
- プログラム ＊発表タイトルは一部変更になる可能性があります。
 - ・13：00～13：05 開催挨拶
 - ・13：05～13：25 東名遺跡に残されたもの（西田 巖）
 - ・13：25～13：55 縄文時代の貯蔵穴（水ノ江和同）
 - ・13：55～14：25 植物処理技術と関連施設（山田昌久）
 - ・14：25～14：35 休憩
 - ・14：35～15：05 縄文時代の編組製品（佐々木由香）
 - ・15：05～15：25 縄文時代の編みかご復元（鈴木三男）
 - ・15：25～15：45 つくり手から見た編みかご復元（本間一恵）
 - ・15：45～15：55 休憩
 - ・15：55～16：55 パネルディスカッション（コーディネーター 甲元眞之）
 - ・16：55～17：00 閉会挨拶
- 問い合わせ先：西田 巖 佐賀市教育委員会文化振興課

〒840-0811 佐賀市大財三丁目11-21 TEL：0952-40-7368 FAX：0952-26-7378

IPC/IOPC2012のご案内

2012年8月23-30日に中央大学で国際花粉学会議（IPC）と国際古植物学会議（IOPC）の合同会議、IPC/IOPC2012が開催されます。

- 会期：8月23日（木）～30日（木）
- 会場：中央大学後楽園キャンパス（東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩5分、都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩7分、JR総武線『水道橋駅』から徒歩15分）
- プログラム
大会の詳細なプログラムは、大会HP <http://www.psj3.org/ipc-iopc2012/ScienceProgram.html> からご覧いただけます。

学会ニュース

- 会費納入のお願い

2012年度会費の早期納付にご協力下さい。よろしく申し上げます。

会費を滞納している方につきまして、会費納入の呼びかけに応じない場合、2012年度大会での承認を経て除名となります。未納会費の早期納付をお願いします。

日本植生史学会会費（2010年度より）一般会員：6000円、学生会員：3000円、団体会員：8000円、賛助会員：一口20,000円とし一口以上とする。会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 吉田圭一郎 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷常盤台79-2横浜国立大学教育人間科学部
TEL：045-339-3425 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：hbjournal@hisbot.jp
- NL編集、ホームページ・企業広告問合せ 広報・渉外幹事 西本寛 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局
Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 Mail：hisbot@univcoop.or.jp
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>